

疆域

三 綠野郡 界勅使河原郡賀美迄三十二里十九町東西廣下總國松戸渡界金町村ヨリ松戸ハ總州金町

郡 甲斐國鴈坂時山梨郡界迄四十一里一町廣袤里程正此武甲ノ界ハ山林岑蔚ノ地ニシテ入跡

ノ及バザル所凡七八里モアルベシト云此邊秩父郡ハ開國最初ノ地ナリ三峯ヲ鎮トシテ連山

併峙シ多西都筑數郡大小ノ諸山波濤ノ如ク朝宗ス東ノ方ハ利根川及其支流海ニ疏通シ大城

ノ前後平坦ノ地廣大ナリ是故ニ魚鹽ノ利山野ノ産ニ富ム

〔武藏濱路一〕當國界隈東は下總國を界西は甲斐信濃國を限り南は相模國北は上野國を限れり

〔日本地誌提要武藏〕疆域 東ハ下總西ハ信濃南ハ相模北ハ上野東北ハ下野東南ハ海ニ至ル

東西凡貳拾六里南北凡貳拾五里

〔武藏志料四〕國境四至

武相堺杭在武橋樹郡程谷相鎌倉郡平戸

矢宿ハ相中ニテ平戸ヨリ又先ナリ

戸塚堺杭

癸未紀行林道春寛永廿年九月 矢宿坂在戸塚東一里計土人曰是武藏相模堺也

關左風烟湘水雲今看俗習異會聞擔夫向客聊饒舌相武二州從此分

今按に武藏相模の堺杭は矢宿坂にあらずそれより北方にて信濃坂の中程に有武藏の國は橋

樹郡程谷宿と相模國は鎌倉郡平戸村との堺に有今はそこに榜示杭有て堺の地藏とて小堂あり

矢宿はやがて相模の國內にて平戸村より又先にありからたがひは誰も有事にて往來經過

の時人の云はまかせてしるすものなれども百年以前といひ且は名家の云置し事故さもや

思ふ人も有んとしてしるしつゝるものなり

〔伊勢物語止〕むかし男有けりその男身をえうなき物に思ひなして涼にはあらしあづまの方に

すむべき國もとめにして行けり略中むさしの國としもつふさの國とのなかにいとおほきな

る河ありそれをすみだ川といふ